

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2066】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目05 急傾斜地崩壊対策事業				
予算区分	款	08	土木費	所属	都市整備課
	項	04	都市計画費		
	目	03	公園費	連絡先	0594-24-1252
	細目	002	公園施設管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市内のがけ崩れが懸念される非常に危険な箇所 (上野地区)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
崖崩れ等が懸念される非常に危険な箇所を吹付法枠工などで対策工事を施行する。  地方債 (合併特例債) 4,000千円	公共施設の危険防止措置として市が対策工事をを行う。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
降雨等による急傾斜地の崩壊を未然に防止することにより、住民の安全、安心を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初		
対象指標	計画面積	m2			0	2,200		
	整備面積	m2			0	350		
成果指標	整備計画内の進捗率	%	目標値 実績値		0 0	15.9		
			目標値 実績値					
投入コスト	事業費計			0	0	4,212	18,000	
	財源内訳	国支出金	千円				0	0
		県支出金					0	0
		地方債					4,000	15,200
		その他						0
		一般財源					212	2,800
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.10			
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00				
人件費合計	千円				684			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

住民の安全、安心対策として早期整備が望まれる。